

区政会議委員より事前にいただいたご意見やご質問

● 運営方針に関すること

戦略１－１ 子育て支援の充実
運営が開始された「こども家庭センター」は、どのような位置付けになるのでしょうか。区役所の部署内の連携は、これまでも行われていたのではないかと思います。（隠岐委員）
子育て支援策について、どの自治体でも実施されているようなことは可能な範囲で実現するのが当然だと思いますので、旭区の特徴としてアピールできるような取組があれば良いと考えます。 例えば、「平日ベビーシッター制度」として、母親が美容室や買い物に行く時間をつくれるよう、地域ごとに曜日を決め（月曜は大宮、火曜は新森など）、子どもを短時間でも預かる地元密着サービスを実現するという取組はいかがでしょうか。（種野委員）
「現状」欄に出生率の増加とありますが、増加した理由を説明してほしいです。実態は子どものいる世帯の転入の増加だったりしないのでしょうか。 １人の女性の生む子どもの数が増えたというのであれば、増えた要因を知りたいと思いますし、子育て支援策がこれらにどのように影響しているのかも関心があります。（種野委員）

戦略１－２ 子どもへの教育支援等
子どもたちの学力や体力の向上に大いに期待していますが、今の教育はいつも下位層のレベルを向上させることに終始し、夢が育ちににくく、力のある子どもをさらに伸ばす取組はできないものでしょうか。これらの実現には差別化も必要であると考えますし、未来の大谷翔平選手や山中伸弥教授を生むような取組に期待したいと思います。ただし、行政にとって急激な舵取りは難しいと思いますので、例えば旭区は算数・数学のレベルアップに特化し、市内ナンバー１をめざし取り組むなどどうでしょうか。（種野委員）

戦略２－２ 誰もが暮らしやすいまちづくり
「現状」欄に棒グラフや折れ線グラフがありますが、これらからどのような「現状」を読み取れば良いのでしょうか。（種野委員）
現在の課題はどのようなものか、難しい言葉ではなく、身近な高齢者の抱える悩みを今一度掘り下げて考えていただきたいです。（種野委員）

戦略３－１ 地域コミュニティの活性化促進
住民の町会加入率が不十分な中、行政として「町会は必要」「町会への加入促進に取り組む」と考えているのでしたら、課題に対する対策を考えてほしいです。町会側の課題点としては、未加入者へのアプローチができない、加入の有無により住民サービス（ごみ収集、災害時の支援等々）に差がない、役員の成り手がいない、加入への強制力がないなどです。とりわけ、未加入による不便が特に発生し得ないことに関して、行政として具体的な対応を行うなど町会とともに取り組んでももらえないでしょうか。町会が解散した地域に「広報あさひ」を個別配付していると聞きましたが、例えばこれらの無償配付をやめるなどの措置はできないでしょうか。（種野委員）

戦略4-1 地域コミュニティの強さを活かした自助・共助によるまちづくり

災害規模に応じて避難者想定数があると思いますが、各避難所のキャパシティを教えてください、現状では避難を要する人のうち、どれくらいの割合で収容可能かを確認したいです。
おそらく不足すると思われますが、避難所の拡充等は国の施策（スフィア基準による？）に任せ、区においては自宅避難者の割合を高くするために必要なことを検討し、今後の対策に盛り込むべきで、避難所自体は物資と情報の供給拠点をめざすことが望ましいと考えます。（種野委員）

今春の地域防災担当者合同連絡会でも意見したことですが、地域ごとの防災リーダーの人数、平均年齢を共有し、今後どのようにしていきたいのか、するべきなのかなど目標を設定したいと考えます。現状は時間に余裕のある高齢の防災リーダーが多く、防災リーダーが一人もいないという状態は避けるべきですが、いざ災害時に役に立てる者が少ないと認識しています。（種野委員）

戦略4-2 地域防犯力の強化

ここは、区役所ではなく警察の力を必要とする分野です。
昨今の強盗傷害事件も気にかかるところ、やはり注意すべきものは特殊詐欺と考えますが、対策は警察に一任されているのでしょうか。区役所としての取組はいかがでしょうか。
金融機関のATMや電子マネー購入場所となるコンビニなど、区内の発生拠点は限定されると思われますので、関係企業と協力した取組は考えられないのでしょうか。（種野委員）

● その他の取組に関すること

区役所のホームページを改善してほしいです。もっと使いやすく楽しいものになれば、多くの人にとって「知りたかったら、困ったらホームページ」になるのではないのでしょうか。
「広報あさひ」は1ページの中に複数の項目が掲載されていることが多いですが、サイズを小さくして1ページ1項目という構成にすれば、さらに見やすくなり情報が届きやすくなるのではないのでしょうか。（例えば都島区の「広報みやこじま」はA4サイズの冊子です）（隠岐委員）

● 区政会議の運営に関すること

区役所の業務として妥協できない部分もあるかと思いますが、課題や改善を希望する点としてつぎのとおり考えます。

- ・ 資料に関して文字が多く、文字数を半分以下に減らすことを目標にしてほしい。
（難しい言葉や表現が多く、非常に分かりにくい資料となっており、読み物として疲れます。）
- ・ 各テーマにおいて取り組むべき内容は2つ以内としてほしい。
（サブの資料には、より詳細な情報があっても良いですが、会議資料は要約版が良いです。）
- ・ 区政会議委員はボランティアであることを今一度認識してもらい、資料を作成してほしい。
（「資料を作成したので読んでください」ではなく、委員が読みたくなる資料としてほしい。）
- ・ 資料に関して、読み物としての楽しさやドキドキ感がなく、区政会議に参加できる喜びや他の区民の参加したいという声もない中で、町会で回覧できるような資料とすることや議論の中身を変えてほしい。
（区政会議が発足した当初からこのような内容だったのでしょうか。）

参考としてですが、他区の区政会議に関して旭区との違いがあれば教えてほしいです。（種野委員）